

はじめに

快適で豊かな生活環境の創造のために

社長コミットメント

カワイグループは創業以来、より良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、企業活動を推進して参ります。環境社会報告書2015年版の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

東日本大震災から4年が経過し、被災地からの明るい話題や復旧・復興に向けて着実に取り組んでいる姿を拝見する機会も増えてまいりましたが、被災地でいまなお厳しい状況におかれている皆様には改めてお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

カワイグループは行動指針の一つである「自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう」に則り、震災直後から全社統一スローガン『がんばろう日本！つながろう音楽で！～カワイは「日本の元気」を応援します～』を掲げ、音楽を通じた支援活動を継続してまいりました。2015年3月11日には被災地での植樹支援を目的としたチャリティコンサートを仙台・東京・名古屋・大阪の4会場で開催し、そこで皆様からお預かりしました寄付金とコンサートの収益金はカワイの森育成会を通じて被災地の海岸防災林の再生に役立てることとし、5月9日にカワイ音楽教室の生徒さんにもご参加いただき、宮城県東松島市矢本地区にクロマツを植樹いたしました。カワイグループは、今後も音楽を通じて被災地の方々の心に届く復興支援活動を継続してまいります。

さて、2013年度からの第4次中期経営計画(平成25年4月～平成28年3月)では、①グローバルブランドを確立する ②音楽文化の普及に貢献する ③お客様や株主の皆様からの高い信頼を得る ④収益性を高め継続的な発展を目指す の4つの将来ビジョンの遂行に取り組んでおります。

第4次中期経営計画の最終年である2015年度は引き続き成長戦略と構造改革の諸施策を着実に遂行してまいります。各事業において知識と経験を持つ者はよき助言者となって、若い人たちが主体的に活動できる環境を整え、第5次中期経営計画に向けて若返りを推進し、新しい時代に向けた体制を整えていきたいと考えています。

鍵盤楽器については高付加価値の商品の開発と従来以上の丁寧な顧客サービスを徹底したいと考えます。国内市場を強化しながら将来を見据え、教育熱が盛んなアジア市場で音楽教室を中心とした三位一体活動を展開して、弊社の強みである調律事業についても国際展開を図っていきたく考えます。また、米国市場では海外販売のビジネスモデルとして、直営店の展開を図ってまいります。



代表取締役社長

河合弘隆

カワイグループの環境への配慮として、1997年に楽器業界では世界で初めてピアノ生産部門である竜洋工場環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しました。以後、「カワイ地球環境憲章」と「環境方針」のもと、国内外の生産拠点に環境マネジメントシステムの導入を推進してきました。2007年には(株)カワイハイパーウッドでエコアクション21、2011年にはインドネシアのPT.カワイインドネシアでISO14001、2012年にはカワイ精密金属(株)でエコアクション21、河合楽器(寧波)有限公司でISO14001、2015年にはカワイ精密金属(株)でISO14001の各認証を取得しました。このように、環境マネジメントにおいてもグローバルに活動を強化しております。

2007年の創立80周年の記念事業の一環としてインドネシアにおいてスタートした植林活動は、地球環境の保全と社会貢献の観点から今後も継続してまいります。また、循環型社会形成のためにピアノの再生利用などの活動にも継続して取り組んでまいります。

現代は地球温暖化、エネルギー・資源問題など地球規模の課題を多く抱えておりますが、カワイグループは持続可能な社会の実現と音楽文化の発展に貢献することを基本に、皆様の快適で豊かな生活環境の創造のために努力を続けていく所存です。

カワイグループの環境・社会面の活動を本報告書にまとめました。今後とも皆様にご理解をいただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。